

# NPO×議員としての4年間での活動

政策実現には、まずは現場づくり！NPO活動で実践を進めました。

描いていた「暮らし方」が形になりました！

## 赤ちゃんからお年寄り、障がいや国籍をこえて集える地域の交流拠点「地域リビング」を実現しました！

H23年に構想していた「地域リビング」をH25年4月に高島平団地で実現。地域のひとたちと企画、運営してきました。ひとり暮らしや核家族化が進む中、地域で共有するもう一つのリビングを持つことで、日常のシェアを通して支え合える「コミュニティを生み出す場」となっています。

月20日間、開催している「おうちごはん」では、会話を楽しみながら家庭料理が食べられます。子育て中の方を始め、デイサービス帰りの方や1人暮らしの高齢の方、障がい者の福祉園や作業所以外の居場所として活用されています。今後は、小学校帰りの子どもが夕飯を食べられる「おあそびごはん」の開催を予定しています。



## いたばしコミュニティスペース連絡会をみんなで立ち上げました！

区内12ヶ所のコミュニティスペースが手をつなぎました！！

目的は、コミュニティスペースの認知度をあげ、普及していくことで、地域福祉の向上をはかっていくことです。目指すは、コンビニの数くらいコミュニティスペースがあるまちづくりです。

H26年度は2回にわたり、フォーラムを開催。各回とも150人の方にお越し頂きました。

「第一回：コミュニティカフェは、いま」では、認知症カフェや介護保険改正を見据えた居場所づくりのこれからをテーマにしました。「第二回：住み続けられる地域って、ほいほい」では、障がい児者や高齢者、子どもと一緒に過ごす共生型のサービスを創られた惣万佳代子さんに基調講演を頂き、続いて食や障がい者の居場所、企業連携等、参加者の興味・関心に応じて、座談会を開催しました。

1ヶ所の活動が必ず終わらないためには、どうしたら？

## 実践から得られる知見を区議会で活かしてきました！

### コミュニティスペース活用を区議会で提案しました！

#### ■ 介護保険改正 H26 議会で質問 H28 実現へ

要支援者の通いの場として、コミュニティカフェやミニデイサービスが補助対象に。多様な地域資源を活かした支え合いの仕組みづくりについて区議会で真っ先に取り上げてきました。「高齢になったら福祉の受け手になる」といった既成概念でなく、一人ひとりの個性を活かした暮らしが出来るよう提案していきます。

#### ■ 認知症カフェ・若年性認知症サポート

東京都の補助制度を活用し、現場から普及促進を進めていきます。また、働き盛り、子育て中に発症する若年性認知症。本人やご家族、支援者との出会いがありました。年代によって抱える悩みも様々です。サポートの充実を区に求めました。

#### ■ 子どもの貧困連鎖解消（生活困窮者自立支援法）

子どもの貧困の連鎖解消を目的とした「子ども食堂サミット」に H27 年に参加。貧困連鎖解消には、勉強だけでなく多様な人間関係を構築したりチャンスを得られることが重要です。この観点からコミュニティスペースを活用した子どもの食事等支援を議会で提案し前向きな答弁を得ることが出来ました。実現を目指します。

#### ■ 障がい者の居場所

福祉園や作業所以外に落ち着いていられる地域の居場所が少ないとの声を聞きます。コミュニティスペースを活用する事で、多様な人とのつながりの中で、ごはんやお菓子づくりをするという風景も日常になりつつあります。

## 人との出会いを通じて直面した地域課題に、一つひとつ取り組んできました！

### 子どもは地域で育てる

#### 新しいキッズ・児童館

- 働いているご家庭のお子さんが学童に「たのしみ！」と帰って来る生活の場の確保
- 土日を含めた子どもたちの居場所に児童館を開放
- 子どもの政策づくりには、子どもが参加し声を届ける事。参加する事で、主体性や政治参加の促進につながる。



#### 認証保育所の保育料補助額が、所得階層別!!

H25年まで、認可保育園と認証保育園の保育料格差は平均で月約3.2万円もありました！

今後、H28年度以降、認可保育園と同程度となるよう補助額を増やし、改善をしていく方針を区から聞くことができました。

H26 実現

### 原発から自然エネルギーへ

#### 自然エネルギーの促進

一般質問や委員会にて提案してきました。区が公共施設の屋根を民間企業に貸し太陽光を設置してもらった「屋根貸し」や新エネルギーや省エネルギーを導入する家庭への補助が充実しました。

放射線測定の実現  
原発事故後、給食や公園の砂場等の放射線測定を提案し実現しました。

H23 実現

### 障がいがあっても暮らしやすい地域づくり

#### トイレに大人用ベッド設置を！

障がい者や高齢者が、トイレでおむつ替えできる大人用ベッドの設置を議会で要望し続けてきました。

→区役所南館と区の公園2ヶ所に設置されました。(H25年度)

→H27年度からバリアフリーマップも改善予定となり、大人用ベッドの所在地が分かるよう工夫するとの答弁がありました！



#### 赤塚ホーム(※)に連絡帳導入！

利用者からの情報提供で、生活の様子をレポートした連絡帳の導入を要望するため赤塚ホームを視察(H26年1月)。H26年4月から実現しました。赤塚ホームでどう過ごしていたか分かれば、緊急時に預ける際にも、安心が高まりますね。

注(※)緊急時や介護家族の一時的休暇の際に心身障がい児者を介護する施設。

H26 実現

### NPO活動を盛り上げる

#### NPO・ボランティア団体の広報がしやすくなりました！！

今までは、NPO・ボランティア団体が活用出来なかった掲示板・回覧板ですが、板橋区関連機関\*から後援をとることで活用し、広報することが出来るようになりました！

\*いたばし総合ボランティアセンターや社会福祉協議会、板橋区等

#### 回覧板

H26 実現

#### 活動場所がない！を解消。

- 空き家が地域交流スペースへ！ 板橋区でも、H27年度に空き家活用事業がはじまります。NPOを2団体公募し、上限100万円を助成する予定。H26年2月に世田谷区の空き家活用事例を視察し、同年3月に議会で提案しました。
- いこいの家でもNPO活動の支援が始まっていく予定です。

H27 実現へ

### 区政情報の公開が実現

#### 板橋区HPに予算書の公開が実現

紙ベースでの発行だけだった区予算書の詳細版をHPに公開するよう提案(H23年9月)し実現しました。

SNSの活用を議会で提案。  
今では、板橋区役所と区議会のSNS活用が進みました！

H23 実現



### 大好きなまちを、みんなでつくる

#### 地域に予算と決定権を！

「地域会議」は10年後、20年後を見据えた自治組織です。町会・自治会、NPO、学校、青健、老人クラブ等、多様な組織が地域で顔を合わせ連携する場です。地域課題マップをつくり、その課題と地域資源のマッピングをさせ、地域資源が足りなければ、地域の人に呼びかけ、担い手を育成していくといった手法を提案してきました。H27年に区から前向きな答弁が得られ、前進に向け理解が広がり始めています。

#### まちづくりは住民参加型！

「高島平ランドデザイン」の策定が進められ、H27年1月に素案が完成しましたが、板橋区は住民の声を耳を傾けることはありませんでした。まちへの愛着は、住民参加型まちづくりから生まれます。今後、板橋区「高島平デザインセンター」を設置し、ランドデザイン本案を策定する動きがあり、民間、大学、行政が連携する方向です。ここに多様な住民参加が保障されるように引き続き求めていきます。

# わたしが目指すこれからの板橋

### 一人暮らしでも安心、会話が楽しめる身近な居場所

- 一人暮らしでも、会話を楽しみながら食事をとれる。
- 地域の子どもの育ちを継続的に見守れる。年を取ったり、病気になるったりしても、地域で暮らし続けられる。

### 障がいがあっても、「地域で暮らす」を選択できる

- 絶対数の少ない障がい者が多様な人と日常から接点を持ち、障がい者政策促進への共感の輪を広げる。
- 福祉園・作業所以外の居場所づくり。
- だれでもトイレに大人用ベッドを設置。
- 重度障がい者への24時間ヘルパー導入。
- 福祉園のバスの活用で移動支援。

### 生きがいがつくり、地域が活躍の舞台に

- 定年退職した方の多種多様な能力を活かし、多世代交流。
- ひきこもりがちの方へのコミュニケーション訓練。

### 住民、ボランティア団体・NPO、行政をつなぎます！

- 創造的な政策づくりには、区職員が自ら多様な地域活動の現場を歩くことが必要です。情報を集約し、NPOの広報協力や協働を進めます。
- ボランティアセンター & 地域会議を小学校区に設置し、徒歩圏内における住民同士の支え合いへ
- NPO活動や新しい地域活動を始めやすい土壌づくり
- ボランティア・NPO活動における評価指標(SROI等の導入) 地域活動がどれだけ社会的価値があるのかを示すことで、住民自治の予算を増やします。

### 地域で国際交流し、自然に国際人が育つ街

- 日常の中で異文化理解。
- 外国人が安心して暮らせる地域づくり。

### 世代や国籍、障がいの有無をこえて集える場を生活圏内に。

- 空き家、空き店舗、集会所、高齢者施設の活用を促進します。



コンビニくらいコミュニティスペースのあるまちづくり♡

ITABASHI-KU

### 保育園や学校の帰りに地域のひとと一緒にごはん

- ひとり親家庭や共働きでも家事のシェア、子育てのシェアにより、安心して子育てできる。

### 子ども会議をひらこう。そして、未来につながる若者の政治参加促進へ

- あいきッズや、児童館のルール変更に、子どもの声は届いている？どこで遊びたい？何が不安？子ども自線で議論し、住民自治の学びにします。



### 子どもが思いっきり遊べる公園 & コミュニティガーデン

- プレーパークで木登り、穴掘り。豊かな遊びが豊かな未来人を育てる。
- 地域の人で公園を運営、お花を育てる。
- 公園にコミュニティスペースを設置。不審者情報が増える今、大人たちの憩いの場×子どもが安心して遊べる公園づくりを目指します。

### エネルギーの地産地消

- 太陽光や蓄電池の導入で自然エネルギーを促進。

### 寝に帰るだけのまちが、仲間いっぱいのおまちへ

- まちに仲間が増えると、地域で飲食する等、消費活動につながり地域経済活性化へ。
- 地域のお店や地域課題が分かり、地域力向上のきっかけに。

### My eyes

私たちが変われば、政治も変わる。



「政治なんて期待しない」。そう思っていたが、そんな私たちこそ変われば、政治も変わるはず。50%を切る投票率が課題です。

議員一人ひとりが会派や政党にしばられず、信念に基づき発言し、賛否を表せる本来の地方議会にしたい。そして、税金を納めていけば、「子どもの教育費や老後も大丈夫」と信頼できる「安心社会」を築きたい。「将来に不安」だと、他人のことを考える余裕は持ちにくい。社会的包摂(Social inclusion: 排除しない社会)に基づく「安心」があってこそ、地域経済の活性化や支え合える地域社会へつながるのではないのでしょうか。

私は、このような未来を目指し「無所属」であることを「選択」し、シェアする暮らしづくりから、板橋区の空気を少しずつ変えて行きたいと思っています。